

議会 だより

したら

74号

令和6年
5月15日発行



もくじ

- 議会行政視察研修報告 2
- 全員協議会・定例会・委員会報告 3
- 議員5名の一般質問 9
- 議会活動報告 12

田峯小学校閉校式

津具中学校閉校式

津具中学校 閉校式



発行／設楽町議会 編集／広報委員会
〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前14番地
TEL 0536-62-0532 FAX 0536-62-1675
E-mail : gikai@town.shitara.lg.jp

議会行政視察研修報告

令和6年1月17日～1月18日の1泊2日で議会行政視察研修を行いました。

議員9名全員が参加し、滋賀県東近江市及び三重県伊賀市にある川上ダムを視察しました。

1 滋賀県東近江市

・東近江市ファミリー・サポート・センターの運営について

- ① 子育てを手伝ってほしい人（依頼会員）と、子育ての手伝いができる人（協力会員）が会員登録し、センターのアドバイザーが橋渡し役となり、会員同士が有料で援助しあう。一人親世帯には助成制度がある。
- ② 主な援助活動は、保育園等への子どもの送迎、保育園・小学校等の開始前・終了後、冠婚葬祭や行事の際子どもを預る、等。援助依頼の理由で最も多いのは、「仕事で帰りが遅くなる」。
- ③ 活動中の事故に備え、会員は全て補償保険に加入。令和4年・5年に各1回ずつ保険で対応した事案がある。
- ④ 報酬の支払いは依頼会員から協力会員へその都度直接払い。現在まで支払いに関する問題は発生していない。

・児童生徒成長支援室の運営について

- ① 不登校・不登校傾向の小中学生の心をときほぐし、生活意欲を高め社会的自立や学校生活へ復帰できるよう支援することを目的としている。
- ② 支援教室への通院や見学・体験を行った日については、校長の判断により出席扱いとなる。
- ③ 最近の傾向として、不登校児童生徒の増加に伴い通室生も増加している点、完全な個別対応へのニーズが高い点などが挙げられる。
- ④ 学校復帰支援については、安易な転校は勧めず、もとの学校への復帰を第一としている。



2 独立行政法人水資源機構 川上ダム

- ① 三重県伊賀市の水道用水、下流域の洪水被害軽減を目的としており、令和3年より試験湛水を開始し、令和5年より運用開始した。
- ② プランクトンの異常増殖の抑制や水質保全のため、浅層と深層2種類のぼっ気を行っている。
- ③ 放流水の勢いを利用し水力発電を行い、発電した電気はダム管理に使用している。
- ④ 下流部の水温変化を防ぎ環境を維持する為に、選択取水設備や流入水バイパス等の設備を備えている。



**第1回
全員協
議会** (2月)

2月26日に全員協議会を開催し、協議事項7件を審議しました。

- ・事務分掌の変更について
- ・辺地に係る総合整備計画の変更について
- ・やすらぎの里大規模改修工事について
- ・きららの森プロジェクトについて
- ・国民健康保険料率の変更について
- ・簡易水道事業会計及び下水道事業会計の繰越について
- ・設楽町学校給食センター（仮称）について

**第1回
定例会**
(3月)

3月4日から26日までの23日間の会期で開催しました。4日は議案の上程、説明、採決及び各委員会への付託を行い、13日に設楽ダム対策特別委員会の開催を、15日は5名の議員による一般質問を行いました。18日に予算特別委員会(総務建設委員会所管分)及び総務建設委員会、21日に予算特別委員会(文教厚生委員会所管分)及び文教厚生委員会を開催しました。最終日の26日は各委員会に付託された議案の審議結果の報告、採決を行うと共に追加上程された議案の審議・採決を行いました。

件名	結果
同意 教育委員会教育長の任命	教育長に大須賀宏明氏の任命 全員賛成で同意
報告 専決処分の報告について6件 名倉地区農業集落排水処理施設の改修に関する業務委託、津具地区農業集落排水処理施設の改修に関する業務委託2件、簡易水道配水管更新工事3件(町道氏神松ヶ根線、国道257号、県道坂宇場津具設楽線)	全員賛成で了承

主な質疑 簡易水道配水管更新工事

Q 高密度ポリエチレン管の耐震度は。

A 国の基準に基づいた管を使用しているため、耐震性に優れている。

Q 工事延長や舗装面積が増えているが、請負工事費の増額が少ないがどうか。

- ・ A 消火栓の設置個所の減や仕切弁の減等もあったことによる。
- ・ Q 県が県道坂宇場津具設楽線の改良工事を行うことにより、配水管を山側に移動したとのことであるが、改良される場所はどこか。
- ・ A 町営杉平南住宅の裏の付近までの約600mになる。

件名	結果
議案 工事請負契約の締結について(簡易水道導水管布設工事<R5-1>(週休2日制))、工事請負契約の変更について(やすらぎの里大規模改修工事)、設楽町立小中学校統合に伴う関係条例の整備に関する条例について、地方自治法の一部改正に伴う簡易水道事業及び下水道事業の関係条例の整備に関する条例について、設楽町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について、設楽町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について、設楽町国民健康保険条例の一部を改正する条例について、指定管理者の指定3件(田峯農村環境改善センター、田口山村トレーニングセンター他1件、田口特産物振興センター他4件) 辺地に係る総合整備計画の変更について、財産の取得について(きららの森周辺の土地購入) 設楽町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について / 計13件	11件の議案を全員賛成で可決 意見が分かれた議案2件 8対1で可決 ○賛成 ×反対

件名	村松一	村松純	原田純	原田直	七原	金田	山口	田中	今泉
小中学校条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○
国保条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○

主な質疑 工事請負契約の締結について(簡易水道導水管布設工事<R5-1>(週休2日制))

Q 2回目の入札で、1社が辞退している理由を把握しているのか。

A 1回目入札後に予定価格オーバーということ連絡したところ、2回目は辞退するとの連絡があった。

- ・ Q 契約の目的欄に週休2日制が記載されているが、今後の工事においても同様か。
- ・ A 基本的に週休2日制を導入していく。

財産の取得について(きららの森周辺の土地購入)

- Q 契約の中で、土地の用途や形状変更、工作物の取り壊し等に制限はあるのか。 : A 買取エリア内においては、法規制によるもの以外であれば、工作物の変更等は問題ない。



反対 賦課限度額の増により保険料が上がることに繋がるため反対する。

賛成 条例の改正は、制度改正によるものであり、保険料の増とは関係がないものと理解し、賛成する。

件名	結果
令和5年度 一般会計2件、3特別会計及び2企業会計 / 計7件 補正予算 一般会計(第6号)、一般会計(第7号)、国民健康保険特別会計(第3号)、つぐ診療所特別会計(第2号)、田口財産区特別会計(第1号)、簡易水道事業会計(第3号)、下水道事業会計(第3号)	7件の補正予算を全員賛成で可決

主な質疑 一般会計補正予算

- Q やすらぎの里大規模改修工事が繰越明許費に計上されているが、電気設備工事以外に6年度に繰越す工事があるのか。
A 電気設備工事以外は、すべて5年度中に完成する。
- Q 産地パワーアップ事業が全額減額されている理由はなにか。
A 県事業として採択されなかったため。
- Q 給食調理員の派遣委託で約半分になっている理由は。
A 2名の募集をしたところ1名の応募しかなかったため、不足分については会計年度任用職員(アルバイト)で対応した。
- Q 小水力発電事業基本設計業務委託の金額が予算と差異があるがなぜか。
A 入札による減である。
- Q 広域事務組合負担金(衛生費分)の減は何か。
A 電気料や燃料費の見込みが当初より下回ったことと工事請負費の入札残によるものである。
- Q プレミアム商品券は5年度と同様なものか。
A 5年度と同様に3割のプレミアをつけて、5,000円で6,500円分という形で2万冊の発行を予定している。
- Q 要・準要保護児童扶助、特別支援教育就学奨励金の減額理由は。
A 臨時交付金により給食費が無料になったことによる。
- Q 公共下水道加入分担金が減額されているが、加入の状況はどうか。
A 100件200人分を見込んでいたが、実際には50件の加入に留まると思う。

件名	結果
令和6年度 一般会計、8特別会計及び2事業会計 / 計11件 予算 一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計、町営バス特別会計、つぐ診療所特別会計、田口財産区特別会計、段嶺財産区特別会計、名倉財産区特別会計、津具財産区特別会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計	7特別会計及び2事業会計予算は全員賛成で可決 意見が分かれた予算 8対1で可決 ○賛成 ×反対

件名	村松一	村松純	原田純	原田直	七原	金田	山口	田中	今泉
一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○
国保会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○

件名	結果
陳情1件 現行の健康保険証の存続を求める意見書の提出を求める陳情書 意見 保険証がマイナンバーカードだけになってしまうと取得していない人が困ることから採択すべき。	意見が分かれ陳情書 8対1で可決 ○賛成 ×反対

件名	村松一	村松純	原田純	原田直	七原	金田	山口	田中	今泉
健康保険証の存続	○	○	○	○	○	○	×	○	○

第2回 全員協議会(3月)

3月15日開催 / 協議事項1件について説明を受け、質疑等を行いました。
・設楽町学校給食センター(仮称)について

令和6年度 予算

令和6年度の設楽町一般会計、特別会計、公営企業会計当初予算を可決しました。

歳入歳出総額	一般会計	59億4,805万円
	特別会計	9億8,859万円
	公営企業会計	21億4,025万円
	合計	90億7,689万円

主な歳出予算の概要

政務活動費	1,200千円
DX推進に係る職員研修委託	6,600千円
自主防犯活動促進事業費補助金	1,700千円
AsJYOC2025開催準備委託	2,420千円
子ども・子育て支援事業計画策定委託	1,859千円
林業機械購入等補助金	500千円
きららの森改修整備基本設計業務委託	8,250千円
学校給食センター（仮称）実施設計委託	25,696千円

反対 田中邦利議員

新年度予算は①厳しい生活を強いられている町民の暮らしを支え、国の悪政の防波堤となる施策の実現、②大軍拡が推し進められる中で歴史を逆戻りさせる動きを食い止め、能登半島地震で明らかになった教訓を基にした災害対策についての点検、③町政上、行き詰まっている施策の改めるべきところは改めることが求められていた。

しかし、

- ・移住定住問題ではその前提となっている「人口ビジョン戦略」が破綻しているにもかかわらず、施策が継続している。カギとなる空き家バンク登録促進に消極的。
- ・自衛官募集への名簿提供をしている。個人情報保護すべき自治体の使命を放棄するものだ。
- ・法律上は、マイナンバーカードの取得はあくまでも任意であり、町は強制的な取得推進を行うべきではない。
- ・能登半島地震の教訓を生かした災害備蓄品の見直し・充実は必須。目先の困難はあるが、現状の打開策がない。
- ・学校給食の全額無償化は約2年間続けてきたが、本年度は半額補助へと後退した。
- ・国保料の大幅引き上げは被保険者の家計に大打撃だ。予想外の高い保険料に一定の緩和策がとられる予定だが、耐え難い高額保険料を課すことには変わりはない。等々の問題点があり、反対である。

討論
〔一般会計〕

賛成 村松純次議員

一般会計の予算規模は59億4,805万円となった。

昨今の急激な物価上昇並びに不安定な社会情勢の中、前年度比1.8%減を実現したことは高く評価すべきことだと思う。

新しくアウトドアのまち設楽町という共通の目標のもと、アウトドアカレッジも発足し、町民と共に動き出すことで世界規模のイベントWRCやAsJYOCの開催を成功に導き、引いては町の活性化に繋がること。

ふるさと納税PR強化や、地域おこし協力隊増員による地元産業の強化並びに移住定住促進等により第2次町総合計画（まちに活気・まちに愛着・まちに自信）の実現を目指していること。

さらに令和8年度完成に向けての交通網、上下水道等の施設整備事業に努力がうかがえること。

教育関係では、ALT派遣の継続、GIGAスクール構想に沿ったICT教育の推進、小中学校統合に伴うスクールバス運行等、設楽町の未来を担う子供たちへの投資がされていること。

その他、各予算も国・県との連携のもと、必要な措置が計上されているとともに、動向を注視し、施策に合った補助制度が打ち出されれば柔軟にかつ迅速に取り入れていくといった内容の答弁もあったこと。

今後さらに官民一体となり全員で設楽町を内から盛り上げていくような施策に期待して賛成の討論とする。

予算特別委員会 主な質疑・答弁内容

令和6年3月4日、18日、21日に開催。201件の質疑・答弁がありました。

- Q** マイナンバーカードは戸籍事務のどの場面で使われるのか。
A 今現在は使われていない。
- Q** 確定申告時、マイナンバー未記入での不都合はあるか。
A 記入されていなくても、特に不都合はない。
- Q** マイナ保険証利用登録について、進捗状況は。
A 現時点での登録者数は約55%である。
- Q** 高齢者安全運転応援補助金の令和5年度の申請は何件あったか。
A 令和5年度は0件であり、町民へのPR不足も否めない。
- Q** 令和5年度の運転免許証返納者は何人か。
A 令和6年1月1日現在、2人である。
- Q** 免許返納者サポート補助金とは。
A 元気パス購入者の全額補助または回数券補助を、町営バス運賃補助が、返納した年の1回に限り認められる。但し、補助期間については、幅を広げて見直してみたい。
- Q** 子ども・子育て支援事業計画策定業務委託にあたり、子育て世代の具体的なニーズをアンケート調査などで把握していただきたい。
A 策定の段階で、広く情報収集も考慮して進めたい。
- Q** 来年度、田口宝保育園が公営化される予定だが、赤字にならないと考えてよいか。
A 今のところ、赤字にはならないという積算を出している。
- Q** 今年度の新型コロナワクチン接種の進め方は。
A 時期は秋1回を予定し、集団接種と個別接種の併用を考える。
- Q** 東三河のごみ処理計画に向けて、愛知県との関わり方を伺う。
A 「新城・北設」と「豊川・蒲郡」が、各々ごみ処理を進める。新城・北設がごみ処理の検討に入った。県は補助金の関係で関与する。
- Q** 校務支援システムの導入について、何社を対象に協議したか。また、3町村合同で導入できなかったのか。
A 豊根村は2年前にシステムを導入した。東栄町は未定。設楽町は3社のうち、使い勝手、柔軟性、可能性を考慮して参入業者を決めた。
- Q** 奥三河郷土館費の赤字解消へのお考えを伺う。
A 保護審議会委員の活用も含めて、これ以上の赤字は許されないという意識で取り組む。
- Q** 国民健康保険料が大幅に値上げされたが、一般財源を充当して、負担増を抑えることはできないか。
A 令和6年度は基金からの繰入れで保険料を補填する。
- Q** どういう根拠で国民健康保険料率を決めるのか。
A 標準保険料をもとに設定した。
- Q** 設楽町の水道料金が県下で一番高い理由と下がる見込みについて伺う。
A 水を作るコストの方が高いので、必然的に高くなる。さらに人口減少により、このままでは料金が下がるのは考え難い。
- Q** 人事評価制度運用支援業務委託、この制度を使って人事に反映するものが増えていけば教えてほしい。
A 評価する側と新入職員が、どのように人事評価を進めていくかという研修を行う。
- 町長** 将来年功序列から脱したいという思いをもって取り組みをしている。人事評価だけでは多分できない。お互いに人を評価するところが少し無いと年功序列から脱せられないという感覚を持っている。
- Q** 田口高校の林地残材活用研究の予算が載っていない。また研究の成果はどのようになっているか。
A 今年研究はやらない。成果としては杉の葉エキスの蒸留水の活用方法、枝葉の活用方法の検討の2点を研究、発表する機会をつくりたい。
- Q** オリエンテーリングフェスタ、昨年より160万円増額の理由は。
A 今まで2日間の開催だったが、2025年の世界大会プレイベントも行き3日間の開催になったため。

Q 地域創生アドバイザーと、空き家バンク委託事業の内容は。

A 地域創生アドバイザーは関係人口創出と仕事づくりに関する事。アウトドアのまちづくりに関する事。空き家バンク委託は、物件の登録、紹介、内覧、地域面談など。

Q 昨年度にパソコン 40 台新規購入したが、今年度リース料が同じように計上されているがなぜか。

A 全体で 120 台の更新が必要、そのうちの 40 台を購入した。しかし維持管理処分費などを考慮し購入からリースへ方向転換したため。

Q コンビニ収納手数料の経過等はどうなっているか。

A 昨年は 1,100 件を見込んでいた。利用される方が多いので今年は 3,000 件を見込んでいる。

Q 地域おこし協力隊のインターン隊員報酬とは何か。

A 最短で 2 週間、最長で 3 か月協力隊を経験する制度。人となりも含め活動内容を確認のうえ本採用とすることが出来る。

Q オリエンテーリングのコースは決まっているのか。

A おおよそ決まっている。関係する根羽村や豊根村にも話をしている。

Q 鳥獣被害対策に対する予算が消極的では、また農地への対策補助はあるが宅地周りの対策には該当しないのか。

A 予算だけ見ると消極的という判断もあるが、鳥獣捕獲防止計画の推移を見ると減って来る傾向もある。また宅地周辺には対策補助は該当しない。

町長 私も大変気になっている。捕っても減らないという状況なので、国、県にシカの対策補助をしていただきたいとお願いをしている。

Q 新規就農者育成総合対策補助金ですが、地区と作物の種類はどういったものか。

A 津具名倉地区で主にトマト。

Q Jークレジットの事業委託の経過はどうなっているか。

A Jークレジットを始めるには森林整備の 10 年間の協定等が必要。森林組合と協議を重ね森林組合の動きを見ながらすすめていく。

Q 森林境界明確化事業補助金、615ha 予定されているが進捗状況は。

A 令和 2 年 173ha、令和 3 年 566ha、令和 4 年 366ha、令和 5 年 625ha。

Q 橋梁点検業務委託とあるが林道の橋梁はいくつあるのか。

A 全 17 橋。

Q 施設窓ガラス清掃委託が大幅増額の理由は。

A 窓、床、屋上の清掃を一括にしたため。

Q きららの森整備基本設計の詳細は。

A ビジターセンター、レイクサイドデッキ、駐車場の土壌調査、池の浚渫の設計、基本設計とあるが実施に向けた設計である。

Q 町営住宅修繕改修工事はどこを改修するのか。

A 修繕費は入居準備と通常修繕、改修工事費はアラコ住宅と大西住宅の公共下水接続工事、杉平南住宅ガス風呂釜取替工事、新町住宅の温水器取替工事。

Q 堤石トンネルの封鎖についてどうなっているか。

A 令和 7 年度封鎖予定、封鎖後もライフラインが通っているため電気料等は発生する。

Q 上原荒尾線、257 号線取付工事を行っているが、下水処理場から和市清崎線の間も同時進行できないか。

A 令和 7 年度以降 1 工区終了後着手予定。

Q 6 年度の準消防団員はどうなっているか。

A 津具、名倉、清嶺地区は発足し 60 名ほど団員が増える予定。

Q 防災アプリの普及率はどうなっているか。

A 3 月 1 日現在設楽町人口 4167 人中 798 台登録の 19.1%、他に LINE も 150 名登録と順調に伸びている。

総務建設 委員会

3月18日開催 / 付託された議案5件を審議しました。
付託された議案は全て「原案のとおり可決すべき」と決しました。

・設楽町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

- Q 改正前の第8条では会計年度任用職員を除くとなっているが、会計年度任用職員が育児休業を取得した場合、給料の号給調整はどうか。
- A 今回の第8条の改正は、会計年度任用職員に期末勤勉手当が支給されることになる。前条で会計年度任用職員に関する部分を削除するため、第8条において会計年度任用職員の説明が必要となる。従前から、会計年度任用職員の号給調整は対象外である。

文教厚生 委員会

3月21日開催 / 付託された議案3件、陳情1件を審議しました。
付託された議案は全て「原案のとおり可決すべき」と決しました。陳情1件は「採択すべき」と決しました。

・設楽町立小中学校統廃合に伴う関係条例の整備に関する条例

設楽ダム 対策特別 委員会

3月13日開催 / 所掌事務の調査を行いました。
設楽ダム建設事業・関連事業の進捗状況について国土交通省と愛知県と設楽町からの説明を受け、その後、付替道路瀬戸設楽線1・2号トンネルと国道473号線月バイパスの現地視察を行いました。

設楽ダム建設事業（地滑り対策等）

- Q 頭部排土工、押え盛土工、交換杭工は貯水位の中でも実施するのか。
- A 地滑り箇所が貯水位の下にある場合はダム湖の中にも地滑り対策を行う。
- Q 鋼管杭工をどの位行うのか。
- A SL-2ブロックを断面位置に沿って打っていく。
- Q 試験灌水やダム完成後に崩れる可能性があった場合は直すことは可能か。
- A 現時点で起こらないよう調査し、工事していく。また、完成後は地滑りが起きていないかをモニタリングしていく。
- Q ダム完成後の地滑りは起きないと想定してよいか。
- A 技術基準に基づき対策しているので、ダムの貯水変動による地滑りは起こらないと考えている。
- Q 以前から11か所の地滑り対策が必要だと聞いていたが、なぜ今また説明を行うのか。
- A ダム本体左岸以外の地滑り箇所を調査した結果、対策工法が決定したので、今後地権者の了解を得て工事を進めていく。
- Q ダム本体左岸以外の地滑り工事を行っている場所はあるか。



◀ 1、2号トンネル

- ・ A 行っていない。
- ・ Q 説明を受けた3工法以外の対策は行わないのか。
- ・ A 代表的な工法を上げた。それ以外にもある。地権者の了承が得られたら説明していく。

設楽ダム関連事業（切り回し工事）

- ・ Q 国道420号田峯バイパスの用地買収ができたことに感謝している。来年度からの切り回し工事とはどんなものか。
- ・ A 終点の旧ヤナ場付近で坑口のヤードを作るため切り回しを行う。起点の三都橋側については、川側に大きく張り出すことが必要となる。また、昨年度道路が陥没した箇所もあり、早期に排水の切り回しを行わないとトンネル工事ができない。費用もかかるが早期に工事に入っていく。

その他（ダンプの連なり走行）

- ・ Q 国道473号をダンプが何台も連なって走っているのはなぜか。
- ・ A 三遠南信自動車道の工事に、設楽ダム事業の残土を利用しているためダンプが何台も連なって走っている。



▶ 月バイパス

令和6年度 町長施政方針

人口減少、少子化等により、これまでどおりの事業や施策の実施、施設維持が困難になることが見込まれ、設楽ダム完成後を見据えた行財政基盤の見直しに取り掛かるとともに、10年後を見据えながら各種事業を展開していきます。具体的には、

1. 地域おこし協力隊を9人体制とし、ともに地域を盛り上げ、移住定住につながる活動を支援します。
2. 設楽ダムに係る小水力発電施設の実施設計を行います。
3. 農業者の販売促進のため、SNSやインターネットを活用したPR事業への補助制度を創設します。
4. 北設情報ネットワークの民営化について、北設3町村で協議を進めていきます。
5. 保育園では適切な保育の実施を図り、子どもセンターを中心に多様な子育て支援サービスを継続します。また、保育園の統合に向けた検討を進めます。
6. 小中学生の安心・安全な登下校環境を確保するため、新たなスクールバス路線を増やします。また、調理場施設の集約を目的に学校給食センター建設の実施設計を行います。

令和6年度 教育方針

設楽町の宝である子どもたちの健やかな成長を願い、地域や学校と連携して、また、町当局と協議・調整を重ねながら、着実に教育行政の推進を図ります。具体的には、

- 小学校の学校規模適正化について、新たな統合も視野に入れつつ継続的に検討を行います。
- 小学校間の交流事業の充実を図ります。
- 中学生の海外派遣事業に関し、令和7年度以降の事業のあり方について検討します。
- 特別支援学級等により、特別な教育支援を必要とする児童生徒の支援を引き続き行います。
- 小中学校でのキャリア教育を推進し、地場産業に対する理解を深め、地域を愛する心を育みます。
- 電子黒板、デジタル教科書、タブレット端末の連携により、GIGAスクール構想の下での授業の実践に努めます。
- 教職員の多忙化解消、働き方改革の推進に努めます。
- 奥三河郷土館において企画展、特別展を随時開催し、広く町内外へ設楽町の情報発信をします。
- 小学校を対象として移動図書館を創設します。児童の健全な育成の観点から読書活動を推進していきます。

一般質問

「中学生(子ども・若者)議会」の開催に向けて

質問 開催する予定は(年1回からでもよいので)。

教育課長 平成28年度に第2次総合計画策定にあたり中学生議会を開催した経緯があり、開催は大きな意義がある。

質問 開催に対しての問題点とは。

教育課長 議会形式では一連の対応にかかる学校現場の負担増が大きい。

質問 どのようなアイデアが予算化されたか。

教育課長 現時点では事業予算化には至っていない。

質問 中学生等に議会傍聴や議会体験させることは。

教育課長 意義があるので今後調整していきたい。

質問 開催にあたり学校、議会、行政の三者での話し合いはできないか。

教育長 小中学校で行った「まちづくりスクールミーティング」では、町長と参加し、積極的な意見交流があり非常に評価している。

町長 中学生・高校生議会は、こちらから開催意思のボールは投げている。

小中学校給食費半額助成から全額無償化を

質問 来年度から1食当り小学生300円(20円増)、中学校350円(50円増)に設定された理由は。

教育課長 公費で賄ってきたが物価高騰、栄養改定を踏まえて20~50円アップをお願いしたい。

質問 半額助成から全額無償化した場合の不足額の試算は。年度途中でも助成額を変更することはあるか。

教育課長 何とか半額分を確保している。全額無償化の場合は623万円不足する。また新たな財源などあれば見直すが、まず1年間は半額助成で進めていきたい。

アウトドアまちづくり推進室と移住定住の関係

質問 令和6年度「移住定住推進室」から「アウトドアまちづくり推進室」へ名称が変更されたが、それは移住定住施策の後退なのか。

企画ダム対策課長 今後も移住定住を重点施策として推進していく。

防災のあり方

質問 指定避難所及び自主防災会の備蓄機器・用品の主な種類と数は。

総務課長 指定避難所である学校には簡易トイレ200回分1セット、各施設に毛布20枚、石油ストーブ、灯油ポリタンク、トランシーバー各4台、3か所の福祉避難所に段ボールベッド20~30台、町の防災倉庫に簡易トイレ500セット、紙パンツ4500枚、間仕切り300枚、ウエットタオル1000枚、乾電池450個、ラジオ100台、発電機12台。自主防災会の備蓄は、過去5年間で、非常食約930食、簡易トイレ9セット、毛布20枚、ランタンライト400個、土嚢袋400袋、発電機3台、ヘルメット110個等々。避難者500人の想定で約3日分の備蓄になるが、食料、水を始め少ないと認識しており補充を検討する。尚、ガソリンエンジンで1時間4000ℓ、手動で1時間1000ℓの飲料水を作る可搬式水ろ過機1台を備えている。

質問 避難所へのペットの同行は可能か。

総務課長 同行については認めている。



原田 純子 議員



① スマホで撮って



② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

放置空き家を地域資源に

質問 居住する目的がなくて維持・管理されていない放置空き家が年々増加している。地域資源としての活用を。

空き家バンク登録の促進を。

企画ダム対策課長 広報したらを活用して呼びかけているが、思うように登録が伸びていない。業務委託先と協議して登録を増やすための検討をしている。

質問 空き家の住宅改築、リフォームに補助は考えられないか。

建設課長 建物の管理は原則として所有者であり特定空家補助は拡大しない。

質問 拠点施設などとして空き家の活用を。

企画ダム対策課長 津具、三都橋地区の空き家活用例から、空き家を拠点施設として活用することは可能。相談があれば紹介できる。



田中 邦利 議員



QRで動画で見よう!

不登校問題について

質問 学校を30日以上欠席する不登校児童生徒の問題はどの児童生徒にも起こりうる。多様な学習機会や、学校復帰だけを目的としない支援が重要だ。不登校の子どもが安心して過ごすことができる居場所づくりを。

教育課長 児童生徒の心を解きほぐすとともに、生活意欲を高めて、社会的な自立と学校生活への復帰を支援することは大事だ。しかし、取組は、どうしても児童生徒の状況を最も把握している学校が行うことになる。県内のモデル事業として実践している「校内フリースクール」も参考にしながら、子どもの実態に即して今後の在り方を考えていく。

第二次設楽町総合計画中間見直しを問う

質問 早よやらまいかプロジェクトの今回の評価では、一部で△評価があったものの順調に推移してると思われるが。

企画ダム対策課長 小規模多機能自治組織を目指し、地域計画の策定を目指し取り組んだが、結果として計画の策定には至ってない。町として活動に対して必要な支援をしたい。

質問 空き家バンクを利用して移住した子育て世代が、世帯数が目標の50戸から7戸について。

企画ダム対策課長 空き家バンクのアクセス数が月平均で約500件あるがニーズに対して供給できる空き家の件数が少ない。ニーズと空家バンクに登録されている物件とのマッチングができてない。

質問 町内の公共施設の利用頻度の少ない施設の地域への移譲、あるいは解体も含め維持管理経費の削減を進めるべき。

財政課長 「設楽町公共施設等総合管理計画」を策定し、令和8年度末までに公共施設の延床面積の10%を削減する目標を掲げているが数値達成は難しい状況で引き続き全庁的に取り組む。

町長 令和8年までには難しいができると思っている。解体には高額なお金がかかるので予算組みをしていく必要がある。

質問 郷土館主催の企画展や講座の開設が目標の10件であったのに未だにゼロ件について。

町長 言い訳をしてる場合ではない、きちんとやるように指示していく。



金田 敏行 議員



QRで動画で見よう!



七原 剛 議員



QRで動画で見よう!

設楽町のふるさと納税制度について

質問 現状における課題、改善すべき事項等はあるのか。

財政課長 インターネットサイト「さとふる」への登録事業者が1事業者2品目と少ないのが課題である。

質問 今後の展望、目標はどのようなものか。

財政課長 今年度から、全国的に人気の高い「楽天」のポータルサイトを追加し、新たな寄附者の獲得及び事業者の販路拡大を図っていく。また、商品の出品だけでなく、体験型も増やしていきたい。

質問 寄附として頂いている以上、寄附額と使用用途・金額を公表すべきだと考えるがどうか。

財政課長 今後は公表に努めていく。

町長 道の駅との連携を検証したい。町民の皆様からの提案も是非頂きたい。

設楽町の企業版ふるさと納税制度について

質問 自己評価や外部評価による効果検証を行うはずだが、結果を示していただきたい。

企画ダム対策課長 効果検証はできておらず、責任は強く感じている。

副町長 しっかり検証して早い時期に報告したい。

質問 今後の展望、目標はどのようなものか。

企画ダム対策課長 設楽ダム建設工事に関わる事業者にPRを行い、更なる寄付獲得を目指す。

議会活動報告



1月

- 7日 設楽町はちを祝う会
- 9日 議会活性化委員会

東三河8市町村長を囲む新春懇談会(豊橋市)

16日 JA愛知東新春懇談会(新城市)

17~18日 設楽町議会行政視察(東近江市・伊賀市)

19日 東三河広域連合全員協議会(豊橋市)

神田トンネル(仮称)建設起工式(東栄町)

23日 例月出納検査

26日 新城市・北設楽郡正副議長会議

2月

5日 議会運営委員会

6日 議会活性化委員会

7日 東三河広域連合議会定例会(豊橋市)

三遠南信地域懇談会(浜松市)

8日 東三河広域連合議会定例会(豊橋市)

13日 北設楽郡教職員研究発表会

15日 奥三河ビジョンフォーラム新春懇談会(新城市)

21日 例月出納検査・定期監査

26日 議会全員協議会

27日 北設楽郡正副議長会議

北設広域事務組合議会定例会

29日 議会運営委員会



3月

- 4日 議会定例会(第1日)
予算特別委員会



8日 設楽町防災会議

11日 議会運営委員会

12日 ジブリパーク内覧会(長久手市)

13日 議会設楽ダム対策特別委員会

15日 議会定例会(第2日)

18日 議会予算特別委員会

議会総務建設委員会

21日 議会予算特別委員会

議会文教厚生委員会



22日 田峯小学校閉校式

議会運営委員会

24日 津具中学校閉校式

26日 議会定例会(第3日)

27日 例月出納検査

28日 新城北設楽交通災害共済組合議会(新城市)

6月定例会 の日程(予定)

場所：設楽町役場 議場
時間：午前9時から

6月5日(水) 開会・一般質問・提案説明

6月7日(金) 総務建設委員会

6月10日(月) 文教厚生委員会

6月12日(水) 設楽ダム対策特別委員会

6月19日(水) 委員長報告・討論・採決・閉会

(設楽ダム対策特別委員会は午前9時30分から) (日程は変更になることもあります)

広報編集委員 委員長：村松純次 委員：七原剛 原田直幸 原田純子 村松一徳